

富士山静岡空港指定管理者評価委員会の評価結果

1 要旨

富士山静岡空港の平成26年度の指定管理業務について、指定管理者による管理運営の状況を客観的に評価し、その結果を今後の業務実施に反映するため、外部評価委員による評価委員会を開催した。

その結果、**評価点は77.0点(90点満点)となり、合格ラインである63点(満点の70%)に達していると評価された。**

2 概要

- (1) 日時 平成27年6月30日(火) 午前10時から12時まで
- (2) 場所 県庁別館9階 第2特別会議室
- (3) 内容 平成26年度富士山静岡空港指定管理業務の実績評価

(4) 評価委員(7人)

区分	氏名	役職等
委員長	山内 弘隆	一橋大学大学院商学研究科教授
委員	大石 晴佳	チャイナエアライン静岡営業所
委員	小田 博之	全日本空輸(株)静岡支店長
委員	柿下 央	(株)フジドリームエアラインズ静岡空港支店長
委員	紅林 眞実	(株)丸紅取締役
委員	花岡 伸也	東京工業大学大学院理工学研究科准教授
委員	山本 倫弘	税理士法人 奈良橋・山本会計事務所

- (5) 指定管理者名 富士山静岡空港株式会社

(6) 評価結果及び講評

合格ラインに達しており、空港の管理運営にあたり、空港の安全・安心を最優先として取り組まれ、航空機の運航に支障となるような問題も無く実施できたことや空港利用者の利便にも柔軟に対応するなど、委員会での評価と自己評価との間で若干の差異はあるものの、**指定管理者として所期の目的を達成していると評価された。**

配点計 a	90点
評価点 b	77.0点
割合 b/a	85.6%
判定	合格

※指定管理者の自己評価点 85点

※合格ライン 70% (63点)

富士山静岡空港指定管理者評価委員会 評価結果集計表
(平成26年度指定管理業務 実績評価)

<評価点> 5 仕様書で求める水準以上の成果が達成されている 4 仕様書で求める必要な成果が達成されている 3 仕様書どおりの実施であり取組みは評価できるが、成果が不十分である 2 仕様書どおり実施できなかったが、空港運営に支障は生じなかった 1 仕様書どおり実施できなかったため、空港運営に重大な支障が生じる恐れがあった	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

項目		配点	評価点 A	自己 評価点 B	評価差 A-B	備考
I 管理運営		40	35.3	39	△ 3.7	
1	空港土木施設の維持管理業務の実施状況	5	4.6	5	△ 0.4	
2	航空灯火等の維持管理業務の実施状況	5	4.6	5	△ 0.4	
3	空港警備業務・鳥獣防除の実施状況	5	4.6	5	△ 0.4	
4	消火救難業務の実施状況	5	4.6	5	△ 0.4	
5	駐車場管理業務の実施状況	5	4.4	5	△ 0.6	
6	空港運用に係る支援業務の実施状況	5	4.3	5	△ 0.7	
7	航空機給油施設、浄化槽施設維持管理業務の実施状況	5	4.1	4	0.1	
8	旅客ターミナルビル等維持管理業務の実施状況	5	4.1	5	△ 0.9	
II サービス向上		20	16.3	20	△ 3.7	
1	利用者満足度の向上 (利用者のニーズに沿った対応等)	5	4.3	5	△ 0.7	
2	利用者満足度の向上 (利用者の意見を聴取し、改善工夫したか等)	5	3.9	5	△ 1.1	
3	自主事業の実施	5	4.0	5	△ 1.0	
4	地域団体等との連携	5	4.1	5	△ 0.9	
III 経費		10	8.6	9	△ 0.4	
1	経費縮減に向けた取組み	5	4.9	5	△ 0.1	
2	収入の増加に向けた取組み	5	3.7	4	△ 0.3	
IV 管理・監督体制等		20	16.8	17	△ 0.2	
1	執行体制等 (迅速的確な業務体制、人員の確保等)	5	4.1	4	0.1	
2	執行体制等 (委託先の適切な選定と指導監督等)	5	4.3	4	0.3	
3	人的能力等	5	4.1	4	0.1	
4	危機管理体制	5	4.3	5	△ 0.7	
合計		90	77.0	85	△ 8	
合格点			63.0			

富士山静岡空港指定管理者評価委員会における 各委員からの附帯意見

平成 26 年度業務評価

I 管理運営

- 指定管理の仕様書、限られた資源、旅客数の想定外の増大の環境において工夫と経験を重ね、質を落とさず、航空会社、利用者の利便、安心・安全の確保に努めている。
- 指示・命令系統の一元化については、以前の委員会で指摘があり、その改善が成されている。
- 民間の創意工夫による経費削減及び安定した空港運営が出来ていると感じた。
- 外国人旅行客の増加の中でサービスの質の維持に努めている。より高次元を目指した施策を期待したい。
- 緊急着陸に対する対応は今回は問題なかったと思われるが、今後、大型機などの緊急着陸は増える可能性があるため、そのための訓練やガイドラインを準備することが望ましい。
- 国際線に特化した安全対策・訓練が必要（特に言葉の通じない多数のお客様が滞留した場合、エアラインだけでは対応不可能）。
- 駐車場に放置されている車はどうすることもできないのか。
- ターミナルビル内に置いてあるディスプレイ用品や植物の定期的見直しをした方がよい。

II サービス向上

- 総合案内所における時間外の外貨両替サービスの開始は素晴らしい。空港訪問者に対するアンケート調査の分析を丁寧にする必要がある。
- 地域との連携に成果を認められるが、マーケットのニーズの更なる取込みをお願いしたい。
- 今後の国際線増大に向けて抜本的なサービス向上計画が必要。利用者の意見収集も積極的に行うべき。
- 地域団体等の連携については、参加団体と自治体間において目標の共有・徹底が曖昧なので、会議等で目標共有をするべき。
- 地域団体との連携において、より一段の主導をとり、航空便の利用向上につながることを期待する。
- これから空港を使っただきたい方に向けての対応を具体的にしてほしい。

Ⅲ 経費

- 航空グッズ専門店を開設する等、積極的な展開が成されている。
- 自主事業を収入増につなげるような工夫が不足しているようなので、今後に向けて改善が必要。
- 不要物の見直しにより、イベント経費の削減に努めること。
- テナントが夜間対応できるようにしてほしい。
- 経費削減の成果は認められるが、増収に向けた具体策が足りない。

Ⅳ 管理・監督体制等

- 運営という特殊で幅広く、なおかつ専門性の高い内容を各セクションで対応し、レベルが上がっている。獲得したノウハウを活用する仕組みづくりが出来ている。
- 大変良くやっている。
- 身だしなみに心がけること。
- 大規模災害等に備えた各種訓練について、県、その他消防・防災の組織と協力し、様々な想定を踏まえて実施して欲しい。
- 無難な管理・監督体制となっているが、改善に向けた抜本的措置等を検討していただきたい。